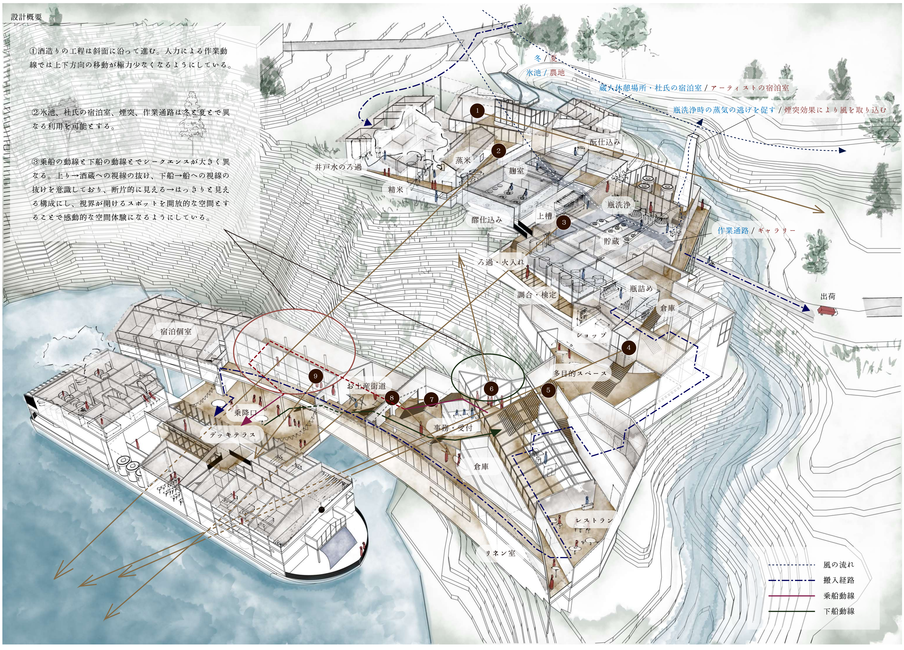
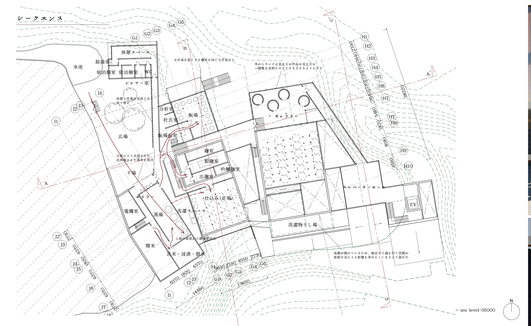
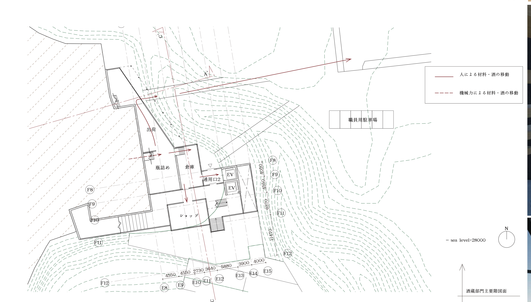
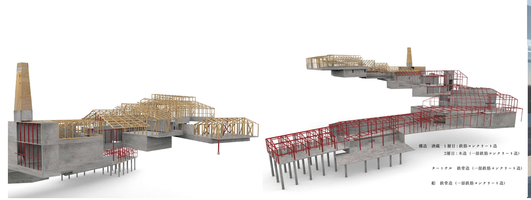
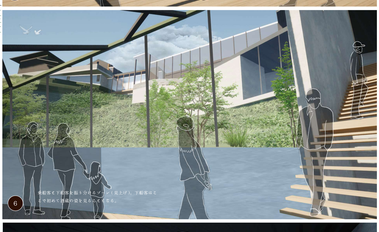
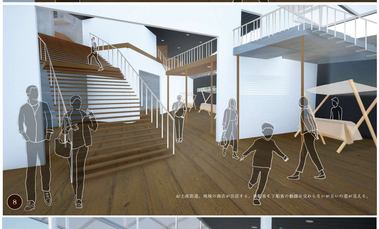
設計概要

①酒造りの工程は斜面に沿って進む。人力による作業動線では上下方向の移動が極力少なくなるようにしている。

②氷室、杜氏の宿泊室、煙突、作業通路は冬と夏で異なる利用を可能とする。

③乗船の動線と下船の動線とでシークエンスが大きく異なる。上キャ→酒蔵への視線の抜け、下船→船への視線の抜けを意識しており、断片的に見えるが→はっきりと見える構成にし、視界が開けるスポットを開放的な空間とすることで感動的な空間体験になるようにしている。